

# 令和5年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 折尾東 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和5年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）

#### 教科に関する調査（国語、算数）

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

#### 児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

- (1) 全国・本市の学力調査（国語、算数）の結果

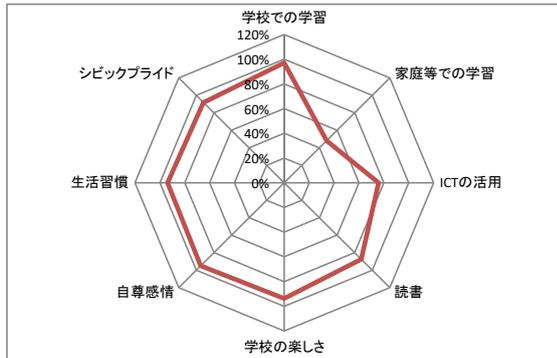
本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.3	66	9.4	59
全国	9.4	67	10.0	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	約7割の問題で、正答率が全国平均を上回っていた。特に、漢字を文の中で正しく使う問題と「読むこと」に関する問題は、全国平均を大きく上回っていた。	全国平均正答率との比較	上回っている
	よくできた問題	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる問題		
	努力が必要な問題	書く問題や原因と結果など情報と情報との関係について答える問題		

算数	全体的な傾向や特徴など	全国平均とほぼ同程度である。特に、「数と計算」の問題については、全国平均を大きく上回っていた。ただし、無回答率が、全国平均に比べて高い問題が多かった。	全国平均正答率との比較	同程度である
	よくできた問題	( ) を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取る問題		
	努力が必要な問題	「図形」と「変化と関係」の領域の問題（特に、百分率で表された割合について答える問題）		

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析	
・「自分には、よいところがあると思う」という問いに対し、肯定的な回答をしている児童が73%と低い。先生は、あなたのよいところを認めてくれると思うや「人の役に立つ人間になりたいと思う」という問いに対し、85%以上の児童が肯定的に回答している。今後は、児童の自尊感情を高め、学校に行くのは楽しいと感じる児童を増やしていくための取組を行っていく必要がある。	
・「学校の授業時間以外に、1日当たり1時間以上、勉強をしている」との問いに対し、肯定的に回答した割合が低かった。今後は、家庭学習が習慣化するよう、自主学習ノート等の活用方法を紹介する等の工夫をして、児童の学習意欲を高められるようにしていく。また、家庭学習の大切さについて保護者へも啓発をしていく。	

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

・日々の授業の中で、『「学び合う」ための基盤づくり』『「問い」と「気づき」を促す発問』『「考えを深める」話し合う活動と書く活動』に重点を置きながら、1時間の「学びの質を高める」授業づくりを目指していく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

・家庭学習の習慣化が課題である。自主学習ノートの活用方法の紹介や宿題内容の工夫を行うことで、児童の家庭学習への意欲を高める。また、同様に、保護者への啓発も行っていく。  
 ・学校行事や児童会活動等で、児童の主体的な活動を促し、自尊感情を高めるための取組を行っていく。